※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（通）政治・経済	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「最新政治・経済」（実教）						
副教材等	パワーポイントによる資料提示						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

在学中及び卒業後、生きていくうえで必要となる法律や経済の仕組みなどについて学習します。具体的事例に基づき、できるだけ実生活に近い内容で学習できるような内容で構成するので、知識を蓄えることはもちろん、自分なりの答えや選択を出せるようになってもらいます。

2　学習の到達目標

・基本的な法知識や経済の仕組みについて理解するとともに、諸資料から，情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・事実を基に多面的・多角的に物事を考察し、公正に判断する力や、論理的な考えに基づいて表現する力、他者と議論する力を養う。
・実生活の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、より良い選択・判断を出すため、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他者と協力しながら取り組めるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。	国家及び社会の形成者として必要な選択･判断の基準となる考え方や政治･経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かうことができている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代日本の政治	①現代国家と民主政治 ②日本国憲法と基本的人権	a:政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配,権利と義務との関係,議会制民主主義,地方自治について,現実社会の諸事象を通して理解している。 b:民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的･多角的な考察･構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題 授業態度
2学期	現代日本の政治	①日本の政治制度と政治参加	a: マス･メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響、政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解している。 b:SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し，適切に表現している。 c:政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題 授業態度
	現代日本の経済	①現代の経済社会 ②現代の日本経済と福祉の向上 ③日本経済のあゆみとこれから	a:生産･分配･消費,希少性,トレードオフ,機会費用など,経済の根本的な概念、資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 b:資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。資本主義経済の成立以降,経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。 c:よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

3学期	現代の国際政治・国際経済	①国際政治の動向と課題 ②国際経済の動向と課題 ③SDGｓの実現に向けて	a:国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解している。 現代の国際政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的･多角的に考察し，表現している。 c:国際社会を担う一員として，現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的･多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度